

高木秀一先生メモリアルシンポジウムのご案内

2016年11月29日

上智大学 東善郎、小池文博

●開催の趣旨：

先般6月19日に高木秀一先生が他界されてからおよそ半年になります。今回、皆様のご参



集をいただいて、高木秀一先生がライフワークとされてきた電子-分子（イオン）散乱の分野を中心に高木秀一先生の足跡を辿ると同時にこの分野の発展を願い、“高木秀一先生メモリアルシンポジウム”を計画いたしました。高木秀一先生には上智にて非常勤をしていただくなどご縁がありましたこと、また、皆様に交通の便が良いことなどから上智大学にて開催させていただくことといたしました。

高木秀一先生はMQDT（多チャンネル量子欠損理論）を分子の高励起状態に適用され、分子や分子イオンによる電子散乱の分野に多大な貢献をされました。比較的最近ではクー

ラーリングによる超低エネルギー電子-分子イオン散乱の実験の解析にも指導的な役割を果たされました。高木秀一先生は分子の高励起状態や超励起状態の理解が電子散乱過程や分子の解離過程の理解に決定的に重要であることを指摘され、解離性再結合反応を始めとする様々な過程についての理論を開発し、今後の方向性についての指針を示されてきました。

そのような中で、また今春35年余にわたる北里大学での勤務を終えられ研究に集中できる環境が整った中での旅立ちは早すぎると言わざるを得ません。本シンポジウムは高木秀一先生を追悼申し上げるとともに高木秀一先生が切り拓かれたこの分野の未来に向けての発展の道を探る機会のひとつになればと考えます。

●期日： 2016年12月17（土） 午後1時30分～

●場所： 上智大学四谷キャンパス 3号館 3-371室

下記キャンパスマップの③三号館の3階です。

3、4、8、9号館は繋がっていて一体の建物になっています。

3号館に入るには正門から入ってすぐ右側（守衛所の向かい側）の

1号館入口から入ります。3-371教室は、

3号館と4号館の繋ぎ目のあたりです。

[Map: http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya](http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya)

四谷キャンパスまでの交通アクセスについては下記をご覧ください。

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

●プログラム：

1. 13:30. はじめに (東善郎、上智大学)
2. 13:35. タイトル未定 (高木祥示、東邦大)
3. 13:50. 高木さんの思い出 (渡部力先生)
4. 14:05. 分子の超励起状態と解離性再結合 (中村宏樹先生)
5. 14:35. 水素を含む分子イオンの解離性再結合 (市川行和先生)
6. 14:50. タイトル未定 (島村勲先生)
- 15:05. 休憩 (15:05 ~ 15:30)
7. 15:30. タイトル未定 (渡辺信一、電通大)
8. 15:50. 電子冷却から分子イオンへ (田辺徹美、高エネ研名誉教授)
9. 16:20. コメント (松澤通生先生)
10. 16:25. タイトル未定 (田代基慶、東洋大)
11. 16:55. 分子の二電子励起状態からのイオン化解離 (酒井康弘、東邦大)
12. 17:10. タイトル未定 (小田切丈、上智大)
13. 17:25. The age of the continua shall come (東善郎、上智大)
14. 17:40. まとめ (小池文博、上智大)
- 17:45. 閉会
15. 18:30.~ 夕食会 (ホテルニューオオタニ、大観苑)

●夕食会：

シンポジウム終了後、[ホテルニューオオタニ内の大観苑](#)にて夕食会を予定しています。是非ご参加くださいますよう。なお、ご参加の人数の把握のため、夕食会に参加される方は当日の **4日前(12月13日(火))までに必ず** 下記世話人にご一報くださいますよう、お願いいたします。

●世話人：

東善郎

Email: y-azuma@sophia.ac.jp

Phone: 03-3238-3491

Fax: 03-3238-3341

小池文博

Email: koikef@sophia.ac.jp

Phone: 03-3238-3355

Mobile: 080-6591-1903

